

## テーマ ▶ ボランティアを募集してみよう！

新しくボランティアを募集してみようと思った時には、グループでどんな準備が必要になるでしょうか？  
2号でもボランティアの確保についてとりあげていますが、今回は募集事例等も交えてもう少し具体的に①実際に大学のボランティアセンターに行った報告②社会福祉協議会等のボランティアセンターに相談する場合、どのような準備が必要かなどをまとめました。

### ボランティアに参加していただく意味は・・・

荒川区社会福祉協議会  
荒川ボランティアセンター長 浅野 芳明

ボランティアは、自主的な気持ちで活動に参加していただく方々です。決して、単なるお手伝い要員ではありません。募集や受入については、メンバー間で話し合い、その目的を共有することが必要です。

#### 【ポイント】

なぜボランティアを募集したいのでしょうか。なぜボランティアを受け入れるのでしょうか。  
その目的を具体的に考えてみましょう。漠然とした目的ではなく、具体的な目的を明確にしましょう。

- 〈例〉 ・おもちゃ図書館活動の共感者を増やす  
・おもちゃ図書館に遊びに来る子どもや保護者との交流を増やしたい  
・特技や子どもたちの喜ぶパフォーマンスができる方を発掘したい  
などなど

ボランティア自身はなぜボランティアをしたいと思っているのでしょうか？  
理由をしっかりと聞き、ボランティアの自己実現を支援していくためにも、可能なプログラムのコースを設けるなど、ボランティア自身が選べる環境をつくりましょう。

#### 【ポイント】

おもちゃ図書館の子どもの遊び相手や見守りだけでなく、できるだけさまざまなプログラムを考えておくと、多様なボランティアさんが参加することができます。

- 〈例〉 ・おもちゃの片づけや整理をしていただくボランティア  
・イベント時に、得意な遊びやパフォーマンスを披露していただくボランティア  
・おもちゃの運搬や力仕事をしていただくボランティア  
・おもちゃの修理やメンテナンスのボランティア(特に、男性でも参加しやすい・・・)  
などなど

おもちゃ図書館のボランティア活動は、年齢、性別、障害の有無に関係なく趣旨に共感して下さる方ならどなたでも参加できる活動です。様々なボランティアが参加することで活動が広がっていきましますし、地域の人をまきこんでいくことがおもちゃ図書館の継続につながると思います。

おもちゃ図書館が地域の中で、様々な人と人の出会いを作る場となっていくといいですね。

# 大学にボランティア募集をお願いする場合 ～浦和トイブラリーおもちゃ箱の事例～

昨年3月まで来てくれていた学生ボラさんが、保育所への就職が決まりボランティアは卒業。新年度がスタートし、じわじわと人手不足を感じ、一番近くの大学であり、彼女の通っていた「埼玉大学」にボランティア募集のお願いをしに行ってみよう！と重い腰を上げることにしました。

まず、埼玉大学のホームページでボランティアセンターを検索。しかし、見当たりません。いろいろ検索する中で『社会連携・地域貢献』のページの中に『さいだい交流ひろば』の文字に行きつきました。どうやら、ここがボランティア活動支援をしているようで、ブログによると学園祭の時にも開いているとのことで、11月25日(土)むつめ祭に行ってきました。今回、事前の連絡もなく突然訪ねたので、担当の職員の方は、ちょっとびっくりしたようでしたが、おもちゃ図書館の説明（ご存じなくて残念）とチラシ掲示をお願いし、4月には新入学生を対象にボランティア説明会があるとのことで、またその頃伺う約束をしてきました。



もう1カ所は、この相談事業ニュースレターの編集会議を終えたころ、全国ボランティア・市民活動進行センター発行の「ボランティア情報11月号」の特集が丁度「大学ボランティアセンターの今を知る」で、その事例として、埼玉県上尾市の聖学院大学が取り上げられていました。早速訪ねることにし『聖学院大学ボランティア活動支援センター』に電話、メールでの日程調整後、1月25日(木)に、おもちゃの図書館全国連絡会藤田事務局長と二人で伺いました。対応してくださったコーディネーターの芦澤さんは、夏のボランティア体験を通して、さいたま市内のおもちゃ図書館のことをご存じでした。また、県内の大学ボランティアセンター情報にも詳しく、話が弾み、とても励みになりました。最終的には、「浦和トイブラリーおもちゃ箱」のチラシの掲示をお願いし、浦和以外を希望する学生には、「おもちゃの図書館全国連絡会」にお問い合わせいただき、埼玉県内や東京都等の活動先もご紹介することになりました。

その後、ナント！埼玉大学教育学部2年男子学生からチラシを見て活動したいとメールをもらいました。3月12日当日は、さいだい交流ひろばの職員さんと工学部2年女子学生さんの3名で来訪。新学期になり授業の都合が合ったらまた来てくれるそうです♪ 実は、すぐに反応があるとは期待していなかったので、メールをもらった時は、びっくりして小躍りしてしまいました。この記事の為の出来過ぎた話のようですが、事実です！やっぱり動くことは大事なんだなと実感しております。

浦和トイブラリーおもちゃ箱  
&おもちゃの図書館全国連絡会事務局 柚口千佳

## 近くの学校を探す

高校⇒ボランティア部  
インターアクト部(クラブ)など  
大学⇒ボランティアセンター(窓口)  
地域連携センター、サークルなど  
※大学ボランティア情報ウェブ  
<https://www.daigaku-vc.info>



## 電話・メールなどで問い合わせる

募集手続きには何が必要か？  
書類の提出方法や訪問日の調整  
例) 団体登録が必須、説明会参加、  
団体の募集チラシ持参など



## 必要な書類(チラシ)の作成

活動を見直すつもりで、面倒でも、必要な書類を作成し、学生に訴えるわかりやすい募集チラシを作ってみましょう



## 学校に行こう

必要な書類、団体の活動がわかるものなど持って出かけましょう。

最近の大学生は・・・

- ・試験(テスト)期間(前期:7月後半～8月前半、後期:1月後半～2月前半)は、活動が難しい。
- ・長期休暇は帰省する学生がいる。
- ・バイトなど予定があるので、早めの告知を心がける。



## 募集したらその次が重要

募集を出してもすぐ応募があるとは限りません。でも、出さなければ、知ってもらうことも出来ません。いつか、素敵な学生さんにつながることを期待して待ちましょう。

さらに、定期的(新年度や夏休み前など)に、学校と連絡を取りましょう。担当者に覚えてもらうと優先的に学生さんに声をかけてくれるかもしれせんよ。

# ボランティアセンターでボランティアの募集をする場合 ～荒川ボランティアセンターの事例～

## 1、ボランティアを募集したいと相談に行く時は、何を用意してきてもらえると良いですか？

以下の事項は、必ずお聞きします。

- ・活動の区分（単発、継続、イベント、日常活動など）日にち、曜日、時間など
- ・募集の理由
- ・活動内容（できるだけ具体的に）
- ・場所（集合場所・活動場所・交通経路）
- ・活動に際しての留意点、持ち物、服装
- ・募集の締め切りなど
- ・申込み先、問合せ先など

日常の活動で、困っている事や求めることなども合わせて情報提供いただけると、より詳細な相談にのることが出来ます。

## 2、相談後、その情報はどの様にボランティア希望者に伝わりますか？

- ①情報誌に掲載する
- ②ボランティアセンターのWebサイトにアップする
- ③ボランティアセンターのボランティア募集掲示板に掲示する



※荒川ボランティアセンターでは、個人登録制度をとっているため、個別のコーディネートや、登録ボランティアに、メールやFAXなどでも情報を提供しています。

## 3、ボランティアを増やす為に行っている講座

◇あらG養成講座(男性を中心に子どもとの遊び方、接し方講座、実践講座)

毎年開催(講座2～3日間)

参加者数は約10名 → 内8名は継続活動をいただいています。

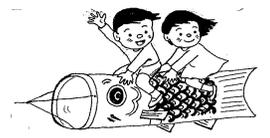
★活動内容:荒川おもちゃ図書館で、毎月1回託児のサポートと定例会(ミーティング)、出張サロンのサポート、地域や荒川区から託児や子どもたちとの遊びなどの依頼があり、活動しています。

◇子育て支援活動養成講座(子どもに関わる講座の中で、実習先としておもちゃ図書館も協力)

対象:区民の方

内容:区内の子育て広場をはじめ、子育て支援の活動を学ぶ講座。その中で、実習もあり、おもちゃ図書館などが協力

修了後:各地域の子育て交流サロンなどでボランティアをしていただく。



# おもちゃ図書館Q&A

## ボランティアさんに聞きました！

**学生の時ボランティアをやっていた浦和トライブライリーおもちゃ箱の君塚さんに聞きました。**

### Q1ボランティアをやってみようと思ったきっかけは？

大学2年生の終わり頃、保育士を目指していたので大学の空き時間に行けて子どもと関わることができるボランティアを経験しておこうと思ったからです。（就職の時役に立つかも?!）

### Q2おもちゃ図書館はどのように知りましたか？

インターネットで「さいたま」「ボランティア」で検索し、たまたま見つけたのがおもちゃ図書館でした。「おもちゃ」「こども」という言葉に惹きつけられ、自分のスケジュールも考慮して気軽にはじめられそうだなと思いました。



### Q3おもちゃ図書館に行った時の第一印象は？

検索して最初に出てきた大宮のおもちゃ図書館を訪問。たまたま利用者さんがいなかったのですが、ボランティアをするか正直迷いでしたが、おもちゃ図書館のボランティアの趣旨等を説明してもらい、興味を持ちました。その際、大学に近い浦和のおもちゃ図書館を紹介してもらい次に訪問。何組かの利用者さんがいて、実際の雰囲気味が味わえたので、ボランティアをやってみようという気持ちになりました。

### Q4ボランティアを続けてみようと思ったのはなぜ？

ボランティアの皆さんがあたたかく迎え入れてくれ、居心地が良かったのと、大好きな子どもたちと関わることで、ボランティアをしている自分が元気をもらえることに気づいたからです。

### Q5活動してみたの感想

障がいのあるお子さんと関わる機会は少なかったものの、様々な方と関わりました。ゆったりとした時間が流れている空間で、私はお子さんと遊んだり、保護者の方の子育ての悩みを聞いたりしました。その中で、子育てについて知らなくても、話しやすい雰囲気を作り、じっくりと話しに耳を傾けることが大切だということ学びました。この経験は、保育士として働く今も役に立っていると思います。偶然ではありましたが、このボランティアに出会うことができよかったですと社会人になった今、強く感じています。

## あらGで活躍中の、中村さん・須貝さん・清永さんに聞きました。（それぞれ中・須・清と省略）

### Q1あらGの講座を知ったきっかけはなんですか？

（中）（須）荒川区報を見て、です。（清）別の活動をしていて、区の職員から紹介されて。

### Q2なぜその講座に参加してみようと思いましたか？

（中）僕は、子どもが好きだから。（須）ちょうど孫ができた時でしたので、講座の「地域の孫と遊ぼう」というキャッチフレーズが、自分の孫との付き合い方にもつながるようで。（清）私は活動の場を広げたい、また前からやっている活動の宣伝をしたかったというのが本音でした。



### Q3講座はどんな内容でしたか？また講座の感想は？

（中）よかったですよ。4~5回、いろんな講座がありました。（須）よかったですね。講座が終わってから、あらGを社協から紹介されました。（清）講師の方が素晴らしかった。学ぶことが多かったですよ。

### Q4講座を受けた後、おもちゃ図書館でのボランティアを続けようと思った理由は？

（中）子どもが好きだからですね、やっぱり。（須）私は、4才の孫を育てる娘を見ていて、おもちゃ図書館のようにママたちが情報交換したり一息つける場所が本当に必要だなと思って、ですね。（清）話を聞いただけではなにそれ？と思ったが実際に見たらよくわかりました。お母さん同士のコミュニケーションの場を手助けできるのは嬉しいですね。

### 相談事業担当者より

人生に起きるすべてのことは「偶然だがそのうち必然だったと思えてくる」のだとか。あなたにとっておもちゃ図書館はすでに「必然」になっているかも知れませんね。今回はそんな出会いを思って、ボランティア募集の現場のお話をまとめました。皆さんの状況に照らし合わせながら一歩踏み出す参考になれば幸いです。新しい出会いがありますように！（岸）

相談事業担当(青塚・岸・山本)